



## 基本方針Ⅳ：生物多様性と子どもたちの関わりを増やします。

### 施策の方向性 1 2 . 守り・伝える人の発掘・充実

#### 施策⑬：地域の生物多様性を「守り・伝える人」の発掘・充実

◆趣旨

生物多様性の恵みを将来にわたって引き継ぎ、生物多様性の保全と持続可能な利用を実現するためには多様な主体が地域の生物多様性を守り、未来に伝える担い手の知識や経験などを活用していく必要があります。そこで、生きものをはじめ、地域の伝統や文化など生物多様性に関する知識や経験をもつ多様な世代と分野にわたる人材の発掘・充実化を図ります。

◆取組内容（令和3年度～令和5年度）

- 観察会やイベントなどを通じて、生物多様性に関わる人材を発掘し充実させます。
- 主体間交流を通じて、「守り・伝える人」の発掘・スキルアップを図ります。
- アンケートなどを実施し、伝えられる側のニーズを把握するとともに、伝える側にフィードバックし、「守り・伝える人」の充実を図ります。

◆各主体に期待される役割と市の役割

関連する主体	役割
市民	観察会やイベントへの参加、主体間交流への参加
事業者	観察会やイベントへの参加、主体間交流への参加
大学などの研究機関	観察会やイベントの協力、主体間交流への参加
市民活動団体	観察会やイベントへの参加、主体間交流への参加
藤沢市	人材の発掘・充実

◆実行プランに位置づける藤沢市の目標設定

取組内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1. 人材発掘を目的とした生物多様性関連の観察会・イベント等の実施及び支援	実施及び支援	実施及び支援	実施及び支援
2. 主体間交流を通じた「守り・伝える人」の発掘とスキルアップ	実施	実施	実施
3. アンケートの実施と結果の反映	実施	実施	実施

※ 他の施策と共通性の高いものについては、併せて実施する場合があります。

- ◆「藤沢市生物多様性地域戦略」の取組（独自事業）と既存計画関連の取組（関連事業）との連携を緊密に行うことで、「生物多様性への全ての影響（危機）」の回避を目指します。 ※2頁参照

◆「藤沢市生物多様性地域戦略」の取組（独自事業）

(1) 生物多様性に関わる人材の発掘・充実

- 市民活動団体等との連携による観察会やイベントの開催等を通して、「守り・伝える人」を発掘するとともに、観察会やイベントの開催のほか、各種パンフレットの配布等を通して、生物多様性に対する意識啓発を図ります。
- 観察会やイベントにおいて、環境教育・環境学習を実施し、環境保全実践活動に携わっている人材の活用を図ります。
- 観察会やイベントにおいて、アンケートを実施し、結果を解析し「守り・伝える人」へフィードバックします。
- 保全活動に取り組む団体間の情報交換・交流が図られるように活動場所の確保や資料の整備・提供、相談等の支援を推進します。  
(担当事業課：みどり保全課)

◇ 生物多様性関連の観察会・イベント等の実施 ◇ 「守り・伝える人」の発掘・充実



《取組事例》

市主催自然観察会当日の様子  
市有山林内を流れる小川で水生生物を観察中  
同山林では、NPO との協働管理を実施している。

11月7日(土)  
2020年度「初めての自然観察会」  
**発見！里山里川探検隊**

水田地帯の広々とした風景の中で、「稲穂ふるさとの森」や「引地川羽祥」に見られる秋の草花や生きものの子などを観察して、身近な自然とのふれあいを体験する自然観察会です。「引地川親水公園」周辺の自然を10倍楽しんでみませんか！

※ 観察会当日の受付で「藤沢市みどり基金」にご協力ください。ご協力いただいた方には「藤沢の自然観察ガイド」を差し上げます。

- 2020年11月7日(土)、午前9時～12時。※雨天中止。
- 集合：引地川親水公園（「天神橋」の東側・トイレ前付近）
- 解散：引地川親水公園（天神橋上流付近）
- 講師：藤沢市自然生態専門員 原田敦子氏。
- 小学生以上（小学生は保護者同伴のこと）。
- 持ち物・服装：帽子、筆記用具、タオル、飲み物。お持ちであれば 園鑑、ルーペ、双眼鏡、デジタルカメラなど。服装・動きやすく汚れてもよいもの。
- 参加費：無料。定員：20名（先着順に決定・定員に達し次第受付を閉めます。）
- 申し込み受け付け（電話又は来庁で）：10月28日(水) 8時30分 受付開始
- 問い合わせ、申し込み：藤沢市役所 みどり保全課 まで

● 電話：0466(25)1111（内線4353）

参加メンバー募集します！

観察会やイベントなどを通じて、生物多様性に関わる人材を発掘し充実させます。